

市民病院



市民病院バックヤードツアー

市民病院

沿革

大垣市の医療整備は、昭和 8 年 1 月郭町 1 丁目に大垣市立診療所を開所したことに始まる。

その後、西濃（岐阜県西部）各町村からの要望により、昭和 13 年 1 月大垣市ほか 20 カ町村診療組合立大垣病院と改組したが、別に農村部においても農村医療の関心がたかまり、昭和 18 年 11 月農業団体法の公布とともに、岐阜県農業会に経営を移管、岐阜県信用購買販売利用組合連合会立大垣病院と改組した。その後、時代とともに変遷を経、経営主体、名称の変更があったが、昭和 23 年 1 月南高橋町 2 丁目に移転改築、岐阜県農業会西濃病院と改称、総合病院として発足した。昭和 23 年 8 月農協法の公布施行により、岐阜県厚生農業共同組合立西濃病院と改称され、西濃地方唯一の総合病院として利用者も多く県下の農協関連の病院の中でも経営、規模とも抜群であった。

政府の国民皆保険の公布の実施方針の決定により、市においても再び公的医療機関としての市民病院の設立の機運がたかまり、前記西濃病院を市が買収し、昭和 34 年 10 月市民病院が開設された。また、移管と並行し、病院近代化計画により建設が進められていた市民病院は、昭和 36 年 6 月、現在地の南類町 4 丁目に診療棟（診療科目 10 科）1 棟鉄筋 2 階建、病棟 1 棟（183 床）鉄筋 3 階建及び附属棟を完成し、新しく移築開設され、数々の改築等により現在に至っている。

概要

市民病院は、岐阜県西部の西濃圏域（大垣地域及び揖斐地域広域市町村圏・2 市 9 町・人口約 360,000 人）の中核的基幹病院として位置づけられており、地域住民に対する医療の確保、地域医療水準の向上を目指し、医学の進歩に応じた高度医療、救急医療を重点目標として、年々施設、医療機器の整備拡充、並びに医療技術者の確保に努め、地域住民の信頼を得てきた。

昭和 55 年 9 月大垣市第二次総合計画基本答申で、圏域における中核的総合病院として、地域住民の健康管理と適正な医療設備の整備拡充を図るよう提言があり、病床不足の解消、I C U・C C U、手術室、検査部門の整備拡充を図るため、昭和 57 年 12 月、6 か年継続事業で多目的棟（管理棟）・2 病棟・伝染病棟の増改築工事に着手した。また、市民各層からの要望により、透析センター（15 床を 40 床に）・管理部門（図書室・研究室等）等の充実のため、昭和 61 年 10 月管理棟西の新築工事を継続事業の中に組み入れ着工、昭和 63 年 1 月には総工事費 89.6 億円を費やし全ての工事が完成し、昭和 63 年 2 月病床数を 808 床とした。さらに、昭和 63 年 4 月には新生児未熟児センター・胸部外科（心臓血管外科）病床の増床（45 床）により総病床数を 853 床とし、診療科目の増設及び院内の組織の改正を行った。

昭和 63 年 5 月には、地域医療の確保に重要な役割を果たしていること、健全経営の堅持等の功績により、自治大臣表彰を受賞した。

昭和 63 年 12 月大垣市第三次総合計画が策定され、医療技術の進歩による高度医療部門の整備、救命救急医療体制の充実、さらに外来患者に対するサービスの向上を図るよう提言があり、平成 2 年 5 月、5 か年継続事業で、診療棟及び 1 病棟の改築に着工、平成 6 年 8 月には建築工事が完成、平成 6 年 10 月に救命救急センター新設等に伴い病床数を増床（35 床）し、病床数を 888 床とした。平成 7 年 10 月には外構工事が完成し、平成 2 年度に着手した診療棟外増改築事業が完了した。

平成 11 年 3 月限りで、伝染病予防法・性病予防法などが廃止され、4 月から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行された。これに伴い、従来からの伝染病床 30 床を廃止し、第二種感染症指定医療機関に指定されるとともに、感染症病床 6 床の設置により総病床数は 864 床となった。また、増加する入院患者の治療を充実するため、一般病床 24 床を同年 7 月から増床し、総病床数 888 床となった。

大垣市第四次総合計画に基づき、老朽化に伴う 3 病棟の増改築工事を 5 か年継続事業で平成 14 年 3 月に着手し、平成 16 年 9 月西側部分の完成に伴い供用を開始した。

平成 15 年 5 月には、病院開設以来健全経営に努め、地域医療の向上に貢献したこと等により、総務大臣賞を受賞した。また、同年 7 月には、(財)日本医療機能評価機構より、同機構が学術的な観点から、中立的な立場で評価し、定められた基準を達成しているとして病院機能評価の認定（一般病院種別 B）を受けた。

平成 17 年 1 月 17 日、地域の医療機関と連携し、専門的な質の高いがん医療が提供できる病院として、厚生労働大臣から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けた。

平成 16 年 5 月から 3 カ年の継続事業により、オーダーリングシステムから電子カルテシステムまでを整備し、診療情報、患者情報を統合的に管理する、医療情報総合システムの開発に着手、平成 18 年 1 月から医師からの検査、処方等の指示が医師の端末入力により各部署へと伝わるオーダーリングシステムの稼働、平成 19 年 1 月の電子カルテシステムの稼働により、「医療情報総合システム」が完成し、本稼働となった。

平成 14 年 3 月に着手した 3 病棟増改築工事の東側部分が、平成 18 年 12 月に完成し、翌 1 月に供用を開始した。この完成に伴い、10 階には自宅での生活を継続しながら外来通院で抗がん剤治療が受けられるよう「通院治療センター」を開設した。

平成 19 年 4 月、医療事故の発生防止や医療関係の相談及び地域医療機関との連携強化に対応するため、医療安全対策室と病診連携及び医療福祉相談部門からなる「よろず相談センター」を設置した。

平成 20 年 2 月 29 日後天性免疫不全症候群に関する特定予防指針（平成 18 年 3 月 2 日厚生労働省告示第 89 号）によるエイズ治療の拠点病院に選定された。また、平成 20 年 3 月にはこれまで発見が難しかった小さいがんも見つけることができ、全身の PET 検査と CT 検査が同時に行える PET-CT 装置を購入した。

平成 20 年 7 月 1 日に入院医療費を、包括評価による『定額払い』という新しい会計

方式である診断群別定額払い方式(DPC)を導入するとともに、医療費のクレジットカードによる収納を開始した。

平成 21 年 3 月 16 日、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、認定基準を達成しているとして病院機能評価の認定(Ver. 5.0)を取得した。

平成 22 年 5 月に、地域医療の確保に重要な、健全経営の堅持等の功績により、2 回目の総務大臣表彰受賞となった。

平成 22 年 7 月 27 日に、特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審し、認定基準を達成しているとして臨床研修評価の認定を取得した。

平成 23 年 2 月 25 日に、地域医療を担うかかりつけ医・かかりつけ歯科医等を支援する機能を備えた病院として、岐阜県知事から「地域医療支援病院」の名称使用承認を受けた。

平成 23 年 5 月 1 日に、院内保育所の運用を全面委託化し、24 時間保育を導入した。また、病棟保育士を配置し、小児患者等の保育も開始した。

平成 24 年 4 月 1 日から救命救急センターの病床数を増床(15 床)し、総病床数は 903 床となった。また、組織の見直しを図り、新たに集中治療部、医療安全管理部、栄養管理部、地域医療連携部を新設し病院機能の強化を行った。

平成 24 年 6 月 21 日に、臓器移植法に基づき脳死と判定された患者の臓器提供を初めて行った。また、平成 24 年 7 月 24 日に、特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審し、認定基準を達成しているとして臨床研修評価の認定を更新した。

平成 25 年 7 月に着手した託児所及び寮改築工事が、平成 27 年 8 月に完了し、同年 9 月より、託児所及び医師・看護師住宅「N e u e (ノイエ)」として供用を開始した。

平成 28 年 10 月、迅速かつ適切なサポートのため「緩和ケアセンター」を開設した。

救急医療については、昭和 40 年 3 月救急病院の指定を受け、地域医療の担い手として、24 時間体制を敷き、脳神経外科・循環器科・胸部外科・I C U・C C U等の設置、C T装置・血管連続撮影装置、核磁気共鳴装置、体外衝撃波腎・尿管結石破碎装置等の関連設備の整備により医療体制の充実を図ってきた。平成 6 年 10 月には重篤な救急患者に対応する救命救急センターを新設し、平成 17 年 4 月より、小児救急医療に係る休日夜間の診療体制を常時整え、初期救急医療施設及び救急搬送機関から転送された小児重症救急患者を受け入れる病院として事業整備を行った。

令和元年 10 月、1 病棟 2 階(旧医事課受付)に入院患者に関わる各科での外来業務の簡略化、看護師の病棟業務の負担軽減を目的に入退院支援センターを開設した。

経営面では開設以来健全経営を維持しており、職員教育面については、院内では病院年報の発刊、対外的には医学図書の発刊と医療技術の研鑽に努め各医学会で評価を得、患者中心の医療の推進に邁進している。

1. 診療概要

(1) 開設者	大垣市
(2) 所在地	大垣市南頬町4丁目86番地
(3) 開設年月日	昭和34年10月1日
(4) 診療科目等	
診療科目	総合内科、糖尿病・腎臓内科、血液内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科（精神神経科）、小児科、第2小児科（小児循環器、新生児科）、外科、消化器外科、小児外科、乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科（胸部外科）、呼吸器外科、形成外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科 [救命救急センター、集中治療室、健康管理センター、透析センター、新生児集中治療室、新生児治療回復室、通院治療センター]
診療時間	土・日曜日、休日を除く午前8時30分から午後5時15分
法的資格	地方公営企業法財務適用
許可病床	903床（一般857床・感染症6床・結核40床）
医療機関群	DPC特定病院群（旧DPCⅡ群）
届出事項	【医科】[入院料等]一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）、結核病棟入院基本料（10対1）、総合入院体制加算2、救急医療管理加算、超急性期脳卒中加算、診療録管理体制加算2、医師事務作業補助体制加算2（40対1）、急性期看護補助体制加算（看護補助者5割未満）（25対1）、看護職員夜間配置加算1（12対1）、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、無菌治療室管理加算1、緩和ケア診療加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算1、同（医療安全対策地域連携加算）、感染防止対策加算1、同（感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用支援加算）、患者サポート体制充実加算、褥瘡ハイリスク患者ケア加算、ハイリスク妊娠管理加算、ハイリスク分娩管理加算、呼吸ケアチーム加算、病棟薬剤業務実施加算1及び2、データ提出加算2イ及び4イ、入退院支援加算1、同（地域連携診療計画加算、入院時支援加算、総合機能評価加算）、認知症ケア加算1、せん妄ハイリスク患者ケア加算、精神疾患診療体制加算、排尿自立支援加算、地域医療体制確保加算、救命救急入院料1、同（救急体制充実加算2、小児加算）、特定集中治療室管理料2、同（小児加算、早期離床・リハビリテーション加算）、新生児特

定集中治療室管理料 1、新生児治療回復室入院医療管理料、小児入院医療管理料 2、同（注 2 加算）〔医学管理等〕外来栄養食事指導料（注 2 加算）、心臓ペースメーカー指導管理料（遠隔モニタリング加算）、慢性維持透析患者外来医学管理料（腎代替療法実績加算）、喘息治療管理料（重度喘息患者治療管理加算）、糖尿病合併症管理料、がん性疼痛緩和指導管理料、がん患者指導管理料イ、ロ、ハ及びニ、外来緩和ケア管理料、糖尿病透析予防指導管理料、同（高度腎機能障害患者指導加算）、乳腺炎重症化予防ケア・指導料、婦人科特定疾患治療管理料、腎代替療法指導管理料、地域連携小児夜間・休日診療料 2、院内トリアージ実施料、外来放射線照射診療料、ニコチン依存症管理料、開放型病院共同指導料（Ⅰ）、がん治療連携計画策定料、肝炎インターフェロン治療計画料、外来排尿自立指導料、薬剤管理指導料、診療情報提供料（Ⅰ）（検査・画像情報提供加算）、医療機器安全管理料 1 及び 2 〔在宅医療〕持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合及び用いない場合）〔検査〕遺伝学的検査、BRCA1/2 遺伝子検査、がんゲノムプロファイリング検査、先天性代謝異常症検査、HPV 核酸検出、HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）、ウイルス・細菌核酸多項目同時検出、検体検査管理加算（Ⅰ）及び（Ⅳ）、遺伝カウンセリング加算、遺伝性腫瘍カウンセリング加算、心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算、シャトルウォーキングテスト、胎児心エコー法、ヘッドアップティルト試験、皮下連続式グルコース測定、長期継続頭蓋内脳波検査、神経学的検査、ロービジョン検査判断料、コンタクトレンズ検査料 1、小児食物アレルギー負荷検査、内服・点滴誘発試験、センチネルリンパ節生検（片側）1 及び 2、経気管肺生検法（CT 透視下気管支鏡検査加算）〔画像診断〕画像診断管理加算 1、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、コンピューター断層撮影（CT 撮影）〔5 機種〕、冠動脈 CT 撮影加算〔2 機種〕、磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI 撮影）〔3 機種〕、心臓 MRI 撮影加算〔1 機種〕〔投薬〕抗悪性腫瘍剤処方管理加算〔注射〕外来化学療法加算 1、連携充実加算、無菌製剤処理料〔リハビリテーション〕心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、同（初期加算）、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）、同（初期加算）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、同（初期加算）、呼吸器リハビリテー

ション料（Ⅰ）、同（初期加算）、がん患者リハビリテーション料〔処置〕硬膜外自家血注入、人工腎臓（慢性維持透析を行った場合１）、同（導入期加算２、透析液水質確保加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、慢性維持透析濾過加算）、心不全に対する遠赤外線温熱療法〔手術〕医科点数表第２章第１０部手術の通則の５及び６に掲げる手術、組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合）、骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る））、骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家培養軟骨移植術）、後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）、頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うもの）、脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）、脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術、脊髄刺激装置交換術、乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算１又は２を算定する場合に限る）、ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）、食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）、経カテーテル大動脈弁置換術、経皮的中隔心筋焼灼術、ペースメーカー移植術（心筋電極及び経静脈電極の場合、リードレスペースメーカーの場合）、ペースメーカー交換術、両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）、両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）、植込型除細動器移植術（心筋リードの場合、経静脈リード及び皮下植込型リードの場合）、植込型除細動器交換術（心筋リードの場合、経静脈リード及び皮下植込型リードの場合）、両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合、経静脈電極の場合）、両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（心筋電極の場合、経静脈電極の場合）、経静脈電極抜去術、大動脈バルーンポンピング法（ＩＡＢＰ法）、経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）、補助人工心臓、経皮的下肢動脈形成術、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）、腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）、胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）、胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る）、体外衝撃波胆石破碎術、腹腔鏡下肝切除術、体外衝撃波膵石破碎術、腹鏡下膵腫瘍摘出術、腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術、腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く）、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術、小腸瘻

閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、体外衝撃波腎・尿管結石破砕術、腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)、腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、輸血管管理料Ⅰ、同(輸血適正使用加算)、自己生体組織接着剤作成術、人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算、胃瘻造設時嚥下機能評価加算〔麻酔〕麻酔管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)〔放射線治療〕放射線治療管理料(放射線治療専任加算、外来放射線治療加算)、高エネルギー放射線治療、同(1回線量増加加算)、対外照射(画像誘導放射線治療(IGRT)加算、体外照射呼吸性移動対策加算)、直線加速器による放射線治療(注1加算、定位放射線治療呼吸性移動対策加算)〔病理診断〕病理診断料(病理診断管理加算1、悪性腫瘍病理組織標本加算)

【**歯科**】地域歯科診療支援病院歯科初診料、同(歯科外来診療環境体制加算2、歯科診療特別対応連携加算1)、地域歯科診療支援病院入院加算、歯科疾患管理料(総合医療管理加算)、がん患者指導管理料1、2、及び3、医療機器安全管理料、精密触覚機能検査、歯科口腔リハビリテーション料2、歯科点数表第2章第9部手術の通則4に掲げる手術、上顎骨形成術(骨移動を伴う場合)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合)、広範囲顎骨支持型装置埋込手術、クラウン・ブリッジ維持管理料

【**食事療養**】入院時食事療養(Ⅰ)

【**保険適用外の併用療養費**】初診に係る特別の料金(医科)5,500円・(歯科)3,300円、再診に係る特別の料金(医科)2,750円・(歯科)1,650円、特別の療養環境の提供(特別室)246床(2,860円～12,870円)、医薬品の治験に係る診療

【**薬事法に基づく承認又は認証を受けた医療機器**】Ultraclip
ブレストマーカー17,000円

(5) 機関指定等

保険医療機関・国民健康保険療養取扱機関・労災保険指定病院・救急告示病院・児童福祉法による助産施設・生活保護法指定病院・指定養育医療機関・母体保護法指定医・身体障害者福祉法指定医・原子爆弾被爆者一般疾病指定病院・特定疾患治療研究受託病院・地域災害医療センター指定病院・第二種感染症指定医療機関・指定自立支援医療機関(腎臓・整形外科・口腔・心臓脈管外科・眼科・耳鼻咽喉科・脳神経外科・小腸・免疫・形

成外科に関する) 指定病院・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律指定医療機関・透析療法従事職員研修実習施設病院・歯科医師臨床研修施設・医師臨床研修施設・岐阜県特定不妊治療費助成事業医療機関・地域がん診療連携拠点病院(高度型)・がんゲノム医療連携病院・小児救急医療拠点病院・エイズ治療の拠点病院・岐阜県地域周産期母子医療センター認定施設・地域医療支援病院・地域災害拠点病院、岐阜DMAT指定病院・原子力災害医療協力機関・難病の患者に対する医療等に関する法律指定医療機関・指定小児慢性特定疾病医療機関・日本医療機能評価認定病院

(6) 教育指定等

日本内科学会認定医制度教育病院
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科学会認可専門医研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本アレルギー学会認定教育施設(小児科、呼吸器内科)
日本透析医学会専門医制度認定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本血液学会認定専門研修認定施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
認定臨床微生物検査技師制度研修施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設
日本病院薬剤師会がん薬物療法認定研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本小児循環器学会認定小児循環器専門医修練施設
日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設 A
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設
日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設
日本静脈経腸栄養学会 N S T 稼動施設
日本高血圧学会専門医研修施設
認定輸血検査技師制度指定施設
日本形成外科学会認定医研修施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
学会認定・臨床輸血看護師制度指定研修施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本緩和医療学会認定研修施設
日本静脈経腸栄養学会実地修練認定教育施設
日本心血管インターベンション学会認定研修施設
日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医制度暫定研
修施設
日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医制度暫
定研修施設
日本小児科学会専門医制度研修施設
日本神経学会認定医制度教育関連施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本脳神経外科学会専門医研修施設
日本精神神経学会認定医精神科専門医制度研修施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
胸部ステントグラフト実施施設
日本呼吸器外科専門医制度基幹施設
日本病理学会研修登録施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
日本腎臓学会研修施設
日本小児科学会専門医制度研修支援施設
日本消化器がん検診学会認定指導施設
日本東洋医学会研修施設
日本輸血細胞治療学会 I & A 認定施設
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント
実施施設

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー
ー実施施設

経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設

日本産婦人科学会専門研修連携施設

日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ健診施設

日本女性医学学会認定研修施設

日本放射線腫瘍学会認定施設

日本病態栄養専門医研修認定施設

日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会・日本呼吸療法医学会
認定施設

日本食道学会食道外科専門医認定施設

日本リウマチ学会教育施設

日本膵臓学会認定指導施設

日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設

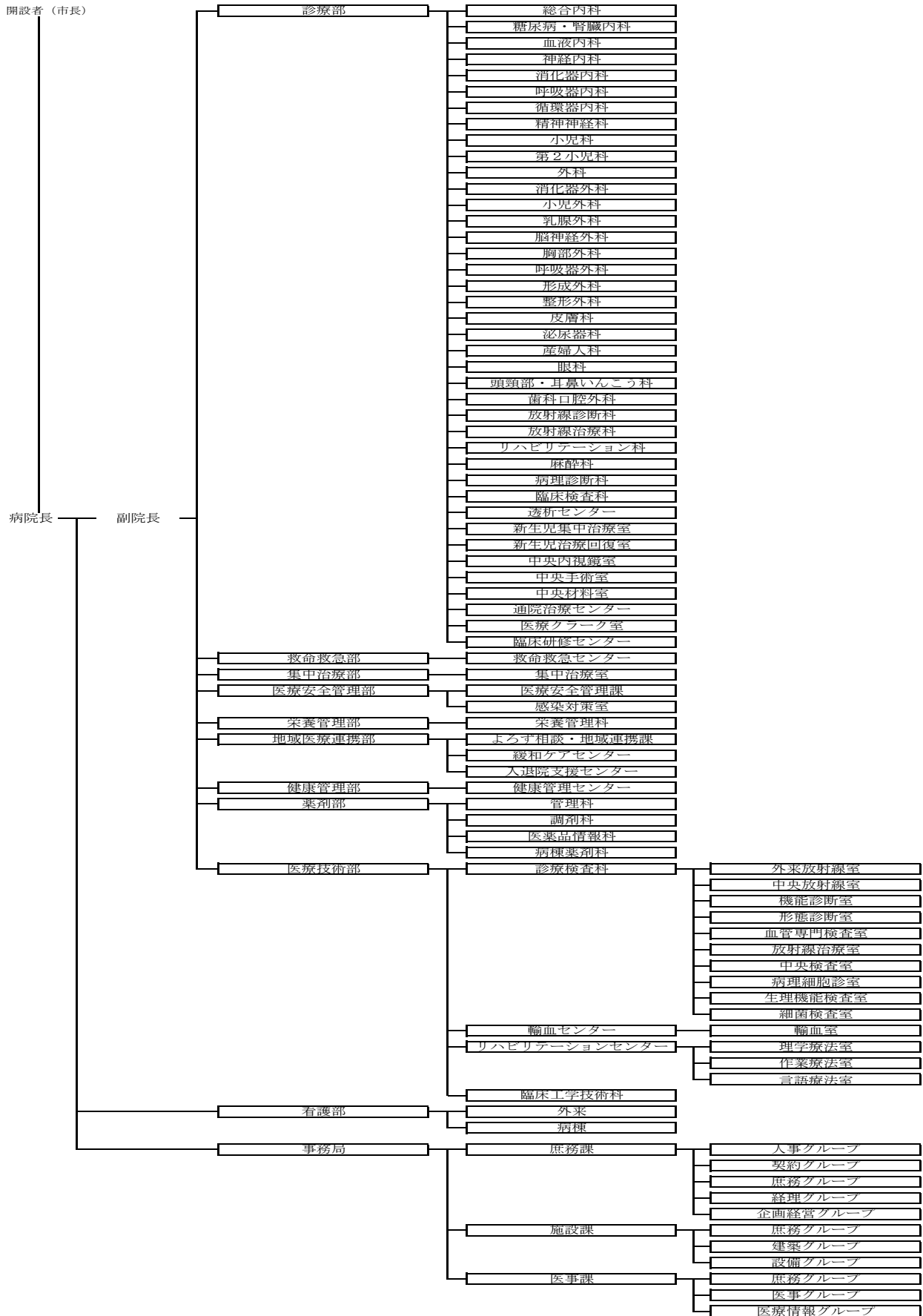
日本心臓血管麻酔専門医認定施設

日本内分泌学会認定教育施設

I M P E L L A 補助循環用ポンプカテーテル実施施設

2. 管理機構図

令和2年 4月 1日



3. 年度別職員数（各年度5月1日現在）

（単位：人）

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医師	医師・歯科医師	168 (うち・1)	167 (うち・2)	167 (うち・6)	177 (うち・13)	166 (うち・1)
	2年目研修医	・17	・17	・19	・20	・18
	1年目研修医	・17	・19	・20	・18	・18
	小計	202	203	206	215	202
助産師 看護師	助産師	20	20	20	22	25
	看護師	730	775	792	803	796
	准看護師	13	13	11	11	11
	小計	763	808	823	836	832
医療技術員	薬剤師	56	56	59	59	61
	診療放射線技師	49	50	50	54	56
	臨床検査技師	54	54	55	56	57
	臨床工学技士	27	28	29	30	31
	理学療法士	24	24	25	24	26
	作業療法士	6	7	7	7	8
	視能訓練士	3	4	4	4	4
	歯科衛生士	4	4	3	4	6
	管理栄養士	9	9	9	10	10
	栄養士	—	—	—	—	—
言語聴覚士	5	5	6	5	5	
小計	237	241	247	253	264	
事務員	54	53	52	52	54	
保育士	—	—	—	—	—	
医療補助員	診療部補助員	17	17	17	17	17
	救命救急部	—	—	—	—	—
	医療安全管理部	1	—	—	—	—
	栄養管理部	2	2	2	2	2
	地域連携部	2	2	2	2	2
	健康管理部	3	3	3	3	3
	薬剤部	3	3	3	2	2
	診療検査科	10	9	10	9	6
	輸血センター	—	—	—	—	—
	リハビリテーションセンター	1	1	1	1	—
	看護部	4	4	3	3	3
	庶務課	7	7	7	6	6
施設課	1	1	—	1	1	
医事課	7	8	8	9	9	
小計	58	57	56	55	51	
その他の職員	医療ソーシャルワーカー	11	11	13	13	13
	看護補助員	68	67	64	65	65
	運転手	—	—	—	—	—
	電気・ボイラーマン	—	—	—	—	—
	技術補助員等	1	—	—	—	—
	調理師等	20	16	13	9	7
	医療相談員	—	—	—	—	—
	臨床心理士	1	1	2	2	2
	警備員	—	—	—	—	—
病棟保育士	2	2	2	2	2	
小計	103	97	94	91	89	
合計	1,417	1,459	1,478	1,502	1,492	
会計年度任用職員※2	看護師	39	41	40	39	26
	准看護師	11	9	7	6	4
	その他の職員	101	90	100	106	107
	医療看護師	57	51	58	60	65
小計	警備員	3	1	—	—	—
	警備員	3	3	4	4	—
	小計	214	195	209	215	202
総合計	1,631	1,654	1,687	1,717	1,694	

※・印は任期付職員(R元年度以前は常勤嘱託)

※2 R2年度制度改正により会計年度任用職員に名称変更

4. 許可病床等の推移

年月日	一般	結核	感染症	合計	病床及び基準看護等の推移
S34.10.1	84	100	—	184	病院開設
36.6.1	183	〃	—	283	南類町に移転開設 基準給食、基準寝具実施
37.8.10	〃	〃	(伝染) 45	328	伝染病棟完成により業務委託
38.7.20	193	〃	〃	338	成人病センター完成10床増
40.2.24	263	〃	〃	408	2病棟完成70床増
40.5.31	283	〃	〃	428	大垣市立産院移転改築20床増
44.2.28	293	86	〃	444	5病棟完成 分院廃止 結核14床減 救急30床増
48.9.18	453	〃	〃	604	一般160床増
53.4.1	559	48	〃	672	一般106床増、結核38床減 計68床増
53.6.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般1類 結核3類 承認実施
54.7.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特1類 結核2類 承認
56.9.1	〃	〃	〃	〃	重症者の看護及び重症者の収容の基準 承認実施
57.7.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特2類 結核1類 承認
59.6.1	〃	〃	〃	〃	基準寝具(病衣) 承認実施
59.7.2	628	〃	(伝染) 30	706	増改築工事 管理棟(東)・伝染病棟完成 一般49床増、伝染15床減 計34床増
61.1.7	637	〃	〃	715	増改築工事 2病棟(西)完成 一般9床増
61.4.1	677	〃	〃	755	一般40床増
63.2.1	730	〃	〃	808	増改築工事完成 一般53床増
63.4.1	775	〃	〃	853	一般45床増
H元.9.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類215床 特2類560床 承認
2.10.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類252床 特2類523床 承認
4.10.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 結核 特1類(I) 承認実施
6.10.1	810	〃	〃	888	増改築工事 1病棟完成 一般35床増 基準看護 一般特3類279床 特2類531床増 届出
7.5.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類432床 特2類378床増 届出 新看護 結核3対1看護(A) 13対1看補 届出
8.5.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類421床 特2類389床 届出
8.6.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般 結核2.5対1看護 13対1看補 届出
8.7.1	818	40	〃	〃	結核 8床減 一般8床増 新看護 一般2.5対1看護(A) 13対1看補 結核 3対1看護(A) 13対1看補 届出
9.6.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 10対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
10.1.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 13対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
10.6.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 10対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
11.4.1	〃	〃	6	864	感染症6床開設 伝染30床廃止
11.7.1	842	〃	〃	888	一般24床増
12.4.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料2(看護配置 2.5対1) 結核病棟入院基本料3(看護配置 3対1)
12.10.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料1(看護配置 2対1)
14.5.6	〃	〃	〃	〃	結核病棟入院基本料1(看護配置 2対1)
16.9.19	〃	〃	〃	〃	結核病棟入院基本料3(看護配置 3対1)
18.4.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料(看護配置 10対1) 結核病棟入院基本料(看護配置 15対1)
22.4.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料(看護配置 10対1) 結核病棟入院基本料(看護配置 10対1)
23.12.1	〃	〃	〃	〃	一般842床のうち3床を休床(ICU)
24.4.1	857	〃	〃	903	一般15床増
25.9.1	〃	〃	〃	〃	一般857床のうち15床を休床(救急10床・ICU5床)
28.4.1	〃	〃	〃	〃	一般857床のうち13床を休床(救急10床・ICU3床)
29.2.1	〃	〃	〃	〃	一般857床のうち66床を休床(一般60床・救急6床)
29.5.1	〃	〃	〃	〃	一般857床のうち69床を休床 (一般60床・救急6床・NICU3床)
29.6.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料(看護配置 7対1)
30.4.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料(急性期一般入院料1)
R元.7.1	〃	〃	〃	〃	一般857床のうち67床を休床 (一般60床・救急4床・NICU3床)

5. 診療科目等の推移

年 月 日	診 療 科 目 等 (★は新設 ☆は独立 ◎は名称変更 ◇は廃止)	備 考
S34. 10. 1	内科・小児科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・ 歯科・放射線科・分院	病院開設
36. 6. 1	★整形外科・★皮膚科・★産院（業務委託）	南頬町に移転開設
38. 10. 1	☆第2内科（内科から）・★成人病科	成人病センター完成
39. 3. 26		総合病院指定
40. 3. 19	★救急室新設	救急告示病院指定
40. 4. 1	◎皮膚泌尿器科（皮膚科から）	
41. 4. 1	★理学診療科	
44. 4. 1	◎呼吸器科（◇分院廃止）・☆皮膚科・☆泌尿器科	5病棟完成
51. 12. 23	★脳神経外科	
58. 8. 1	☆循環器科（内科から）・◎消化器科（第2内科）	
59. 3. 31	◇産院（業務委託）廃止	金生助産所業務受託廃止
63. 4. 1	★心臓血管外科（胸部外科）・★第2小児科（小児循環器 新生児科） ★麻酔科・★臨床病理科・◎健康管理科（成人病科）	63. 1 増改築工事完成
H4. 4. 1	☆第2小児科（小児循環器科、新生児科） ◎歯科・口腔外科	
6. 10. 1	◎第2小児科（小児循環器、新生児科） ★救命救急センター（◇救急室）	6. 8 増改築工事完成
7. 4. 1	★健康管理センター（◇健康管理科） ◎救命救急センター（救急室、集中治療室）	7. 8 診療棟外増改築 工事完成
9. 3. 1	◎リハビリテーション科（理学診療科）	
9. 4. 1	◎歯科口腔外科（歯科・口腔外科）・★精神科（精神神経科）	
10. 4. 1	★形成外科	
15. 4. 1	★小児外科	
16. 4. 1	◎総合内科（内科）、☆糖尿病・腎臓内科（内科）、 ☆血液内科（内科）、☆神経内科（内科）	16. 8. 3 病棟西側増改築 工事完成
17. 4. 1	☆呼吸器外科	
19. 1. 1	☆通院治療センター	
20. 7. 1	◎頭頸部・耳鼻いんこう科（耳鼻いんこう科）	
23. 4. 1	◎消化器内科（消化器科）、◎呼吸器内科（呼吸器科）、 ◎循環器内科（循環器科）、☆消化器外科（外科）	
25. 6. 1	☆乳腺外科	
26. 9. 1	◎病理診断科（臨床病理科）	
28. 4. 1	★放射線診断科、★放射線治療科、◇放射線科	

6. 施設

(1) 院内の建物

- ・院内敷地面積 34,697.95㎡
- ・院内建物 延床面積 86,057.11㎡
- ・診療施設 延床面積 79,247.56㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面積 (㎡)
診療棟 1 病棟西 診療棟 1 病棟東	H 4. 3.30 H 22. 3.12 H 6. 8.31	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造) 地下1階地上6階建	外来診療室、処置室、調剤室 X線室、検査室、受付、会計 患者待合、病室、看護師室 分娩室、沐浴室、当直室 放射線治療室	24,483.52
2 病棟西 2 病棟東	S61. 1.31 S63. 1.31	鉄骨鉄筋コンクリート造 9階建	事務室、中央手術室、中央 材料室、検査室、X線室、 病室、看護師室、処置室他	18,583.01
管理棟東	S59. 2.29	鉄筋コンクリート造 6階建	研究室、会議室、講堂、 部長室他	3,019.87
管理棟西	S63. 1.31	鉄筋コンクリート造 5階建	リネン室、消毒室、図書室、 透析センター他	2,787.92
西渡り廊下	S44. 9.30	鉄筋コンクリート造 3階建	感染対策室他	299.67
3 病棟西 3 病棟東	H16. 8.31 H19. 3.23	鉄骨鉄筋コンクリート造 10階建	病室、看護師室、処置室、職 員食堂、医療工学センター、 通院治療センター、ガンマカ メラ室他	19,989.13
多目的棟	S51. 7.29	鉄筋コンクリート造 2階建	物流センター、事務室他	1,519.59
健康管理 センター	S50. 7.20	鉄筋コンクリート造 2階建	MRI室、PET-CT室、健康管 理センター他	968.68
エネルギー センター	S54. 7.31	鉄筋コンクリート造 4階建	ボイラー室、冷凍機室、防災 備蓄センター、保安監視室、 受変電室、自家発電機室他	1,689.26
第2エネルギー センター	S63. 1.31	鉄筋コンクリート造 3階建	冷凍機室、医療ガス機器室 他	629.30
旧感染症病棟	S59. 3.31	鉄筋コンクリート造 2階建	空室	673.80
救命救急センター	H24. 1. 1	鉄筋コンクリート造 3階建	外来、病棟、当直室、会議 室、車庫(別棟)	4,033.39
附属建物	—	鉄骨造平屋建他	自転車置場、ポンプ室他	378.43
	H27. 8.27	鉄骨造平屋建	自転車置場	77.75
	H29. 7.31	鉄骨造平屋建 2棟	自転車置場 (健康管理センター東)	114.24

・医師、看護師住宅 延床面積 6,809.55㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面積 (㎡)
旧 医 師 寮	S56. 2. 22	鉄筋コンクリート造 4階建	仮眠室	1,473.67
託児所及び 医師・看護師住宅	H27. 8. 27	鉄筋コンクリート造 8階建	託児所、医師住宅(40戸)、 看護師住宅(30戸)他	5,276.87
附 属 建 物	H27. 8. 27	鉄骨造平屋建	渡り廊下	59.01

(2) 院外の建物

・医師住宅 延床面積 1,744.05㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面 積 (㎡)	戸 数	1 戸 当 た り (㎡)
世 安 住 宅 1～4号棟	S39. 10. 14	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	362.88	4	90.72
世 安 住 宅 5～7号棟	S41. 3. 30	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
世 安 住 宅 8～10号棟	S43. 2. 28	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
世 安 住 宅 11～13号棟	S44. 10. 30	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
禾 森 住 宅	S51. 2. 28	鉄筋コンクリート造 3階建	医師住宅	564.69	6	94.12

・その他の施設 延床面積 1,669.80㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面積 (㎡)
バスのりば (南)	S43. 3. 31	鉄筋コンクリート造 平家建	市民病院前バス停待合室	18.48
バスのりば (北)	S44. 4. 25	鉄筋コンクリート造 平家建	市民病院前バス停待合室	32.16
新 幹 線 下 倉 庫 A	S52. 11. 28	鉄骨造2階建	診療録・X線フィルム庫	365.85
新 幹 線 下 倉 庫 B	S53. 9. 16	鉄骨造2階建	診療録・X線フィルム庫	232.98
新 幹 線 下 倉 庫 C	S56. 3. 25	鉄骨造2階建	一般書類・備品等倉庫	414.16
新 幹 線 下 倉 庫 D	S58. 12. 22	鉄骨造2階建	診療録・X線フィルム庫	606.17

7. 各科別入院・外来患者の推移

(1) 入院

(単位：人)

科名	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総合内科		562	1,941	1	1	0
糖尿病・腎臓内科		9,881	10,295	11,429	12,046	10,096
血液内科		14,668	13,927	15,022	16,909	12,677
神経内科		21,260	18,566	16,434	16,214	14,590
消化器内科		24,711	20,819	18,234	20,707	23,080
呼吸器内科		27,286	28,647	24,670	25,240	24,864
循環器内科		28,700	26,547	25,044	25,581	26,294
小児科		8,168	8,064	8,280	7,402	6,898
第2小児科		7,725	7,076	6,655	7,377	6,155
外科		32,123	25,377	24,286	22,827	24,414
脳神経外科		15,384	11,333	13,230	11,799	12,128
胸部外科		6,649	7,394	7,657	6,864	5,930
形成外科		3,756	4,000	3,746	3,674	2,478
整形外科		26,262	20,741	20,940	18,834	18,086
皮膚科		4,599	4,286	4,283	4,046	3,800
泌尿器科		8,291	7,603	7,760	8,054	7,793
産婦人科		14,818	11,112	9,862	9,937	9,568
眼科		2,251	2,215	2,033	1,468	1,387
頭頸部・耳鼻いんこう科		6,604	5,940	5,235	6,438	5,765
歯科口腔外科		3,266	3,012	2,395	1,927	1,686
麻酔科		0	0	0	0	0
感染症		0	0	0	0	44
計		266,964	238,895	227,196	227,345	217,733
1日平均患者数		729	655	622	623	595
年間診療日数		366	365	365	365	366

(2) 外 来

(単位：人)

科名	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 合 内 科		8,930	8,198	8,449	9,538	8,516
糖 尿 病 ・ 腎 臓 内 科		40,684	39,997	40,903	40,274	39,994
血 液 内 科		12,009	11,757	12,031	12,439	11,888
神 経 内 科		17,036	16,095	15,958	15,791	15,145
消 化 器 内 科		65,807	59,883	59,088	57,255	57,303
呼 吸 器 内 科		33,615	32,418	31,408	31,023	31,295
循 環 器 内 科		42,936	39,551	39,602	39,850	40,108
精 神 神 経 科		13	14	15	43	29
小 児 科		25,247	22,623	21,326	21,420	20,820
第 2 小 児 科		9,810	9,494	9,369	9,478	8,941
外 科		37,113	35,443	33,680	33,234	33,383
脳 神 経 外 科		12,177	11,296	11,853	11,506	10,808
胸 部 外 科		7,623	7,649	7,591	7,753	8,013
形 成 外 科		11,134	11,021	11,131	11,354	10,497
整 形 外 科		38,768	35,728	36,506	34,832	32,974
皮 膚 科		38,442	37,634	37,190	37,639	34,848
泌 尿 器 科		33,316	32,671	31,068	30,900	29,873
産 婦 人 科		27,794	23,675	19,838	19,118	20,559
眼 科		25,369	20,384	19,721	18,460	14,679
頭 頸 部 ・ 耳 鼻 咽 科		18,704	16,077	16,174	17,290	17,663
歯 科 口 腔 外 科		18,424	17,542	18,986	19,864	19,958
リハビリテーション科		17,813	16,779	17,413	15,891	10,500
麻 酔 科		198	166	269	371	215
放 射 線 診 断 科		144	120	109	131	72
放 射 線 治 療 科		-	4239	7059	1016	1055
通院治療センター		11,979	10,823	11,432	12,280	13,422
健康管理センター		6,777	6,378	6,550	6,770	6,499
計		561,862	527,655	524,719	515,520	499,057
1 日 平 均 患 者 数		2,312	2,171	2,150	2,113	2,079
年 間 診 療 日 数		243	243	244	244	240

8. 財政状況

(1) 収益の収入及び支出 (税込み)

(単位：千円)

区分	年度	平成30年度 決算額	令和元年度 決算額	令和2年度 予算額
病院事業収益		33,766,399	34,079,017	34,753,000
病院医業収益		33,315,317	33,627,245	34,308,000
病院医業外収益		450,279	449,822	444,000
特別利益		803	1,950	1,000
病院事業費用		32,875,301	33,502,635	34,743,000
病院医業費用		32,248,541	32,869,737	34,115,100
病院医業外費用		366,650	375,008	281,600
特別損失		260,110	257,890	336,300
予備費		—	—	10,000
差引		891,098	576,382	10,000

(2) 資本の収入及び支出 (税込み)

(単位：千円)

区分	年度	平成30年度 決算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額
資本的収入		326,154	372,215	423,000
企業債		—	—	—
出資金		152,724	155,815	162,000
補助金		—	—	200
固定資産売却代金		—	—	—
貸付金返還金		172,400	215,150	260,000
寄附金		1,030	1,250	800
資本的支出		2,269,677	2,551,646	3,161,000
建設改良費		1,457,637	1,748,664	1,335,900
企業債償還金		237,640	242,432	252,000
貸付金		574,400	560,550	567,800
投資		—	—	1,005,000
補助金返還金		—	—	300
資本的収入額が資本的 支出額に対し不足する額		1,943,523	2,179,431	2,738,000
補てん財源内訳	過年度分消費税及び地方 消費税資本的収支調整額	1,563	1,341	3,365
	過年度分 損益勘定留保資金	1,941,960	2,178,090	2,734,635